

法学博士ディルク・エーラーズ教授、  
中央大学（在東京）から特別の顕彰を受ける。

2014年5月13日



法学博士、ディルク・エーラーズ教授、東京で行われた贈呈式で

中央大学（在東京）は、ヴェストフェーリッシェ・ヴィルヘルム大学の法学者、法学博士、ディルク・エーラーズ教授に対し名誉博士学位を贈呈しました。

この顕彰は、「ドイツ公法学の発展に卓越した業績」を挙げることを通じてなされた国際的貢献に対する評価を基礎として、2013年度に名誉教授資格を得た本学の公法、特に経済公法担当教授の名誉を称えるものである旨、中央大学が強調する通りです。

ディルク・エーラーズ氏は1945年にフレンスブルクで生まれ、1982年にミュンスタ一大学に招請されました。

1994年から1996年まで、同氏は法学部長に就任されました。

同氏の中心的研究分野は経済公法、国家と協会との関係に関する法（憲法）、そして、教会法、これらです。

エーラーズ氏は、研究・教育活動を行うにあたり、外国での活動にも重きを置いています。

ヴェストフェーリッシェ・ヴィルヘルム大学と中央大学との交流はすでに30年にも及んでいます。

交流計画に基づいて、両大学法学部の間では、年ごとに互いに教員を派遣し合ってきました。

ディルク・エーラーズ氏は1996年に中央大学客員教授として訪問され、またドイツ側で交流事務を担当され、調整作業に従事されました。